

# 町の交差点

## 初 土師二区 子ども会 代“ムシキング”はアトラスオオカブトに！

夏休み最初の日曜日の7月25日、土師コミュニティセンターには、子どもたちの「頑張れ～！」「行けー！」といった元気な声が響き渡った。これは、土師二区子ども会（会長 花田幸雄）で企画・開催された「ムシキング選手権（土師二区子ども会杯）」で、当日は自分で飼っている自慢のカブトムシやクワガタを手にした14名の子どもたちが参加。直径10センチほどの丸太の上で虫同士を向かい合わせ、落とされたり、逃げ出したりした方が負け、といったシンプルなルール。外の熱気に負けにくいくらい熱い戦いが繰り広げられました。そして並みいる強豪を破って初代ムシキングに輝いたのは、



太田悠星くん（桂川小2年生）とアトラスオオカブト。最後に参加賞のカブトムシを手渡される子どもたちからは、「また来年もやろうよ！」「来年こそは！」というリベンジに燃える言葉があがっていました。

▲ 初代“ムシキング”に輝いたアトラスオオカブトと太田悠星くん



## 初 全国合鴨水稲会 めて桂川町住民センターで開催してから20周年

アイガモ農法に取り組む農家らで作る全国合鴨水稲会が、「20周年記念フォーラム in 福岡」を開催し、8月1日には桂川町寿命でアイガモ農法に取り組む古野隆雄さんの水田視察と桂川町住民センターでの討論会を行いました。このフォーラムは、1991年、アイガモ農法の第一人者である古野隆雄、久美子夫妻が中心となって、出来て間もない桂川町住民センターで開催した「合鴨サミット」が始まり。今回も全国から合鴨農家やアイガモ農法に携わる人々が集まり、外の熱気に負けにくい熱い討論が行われました。



▲ 約350人が参加して自由討論会が行われた住民センターの様子と、ステージ上で質問に答える古野隆雄さん。



▲ 別府・血の池地獄の前で記念撮影

## 今 桂ヶ丘区 敬老クラブ「恵寿会」年のキーワードはコラボレーション

桂ヶ丘区 敬老クラブ「恵寿会」は、6月26日～27日の二泊二日で別府へ親睦旅行に行きました。湯けむり立ちのぼる街での地獄めぐりや、「お帰りなさい、昭和の町」のキャッチフレーズで有名な豊後高田の町並を十二分に散策し、昔懐かしい看板や車、そしておもちゃなどを見学して会話が弾みました。参加者は元気に歩き、笑い、そして「来年も全員でまた旅行に行きましょう！」と誓い合った楽しい二日間でした。